

# 令和7年度 東京学芸大学附属高等学校

## 生徒募集要項（帰国生用）

本校は、東京学芸大学附属の全日制課程普通科の高等学校で、中学校における教育の基礎の上に、生徒の心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育を施すとともに、大学と連携し、教育の理論と実践に関わる研究を行い、かつ学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。本校は、附属中学校はじめ国内外の中学校の出身者などによって編成されている。

### 本校の教育目標

- 清純な気品の高い人間を育てる
- 大樹のように大きく伸びる自主的な人間を育てる
- 世界性の豊かな人間を育てる

### 本校の育てたい生徒像（グラデュエーションポリシー）

多様な分野でイノベーションを引き起こし、国際社会に貢献する人間

現代は先の読みにくい時代である。AIをはじめとした技術の進歩は加速度的であり、現在の職業の多くが近い将来無くなると言われている。その Society 5.0 の時代にあって、社会に貢献する真のリーダーのキーコンピテンシーとは何かを考え上記のグラデュエーションポリシーを決定した。このグラデュエーションポリシーを達成するために、以下の4項目を本校において育成する。

#### ① 改革者としての社会貢献する姿勢

いわゆる理系、文系を問わず、各自が選んだそれぞれの分野で創意工夫し改革を進めることにより、社会に貢献できる真のリーダーを育成する。

#### ② 生涯学習者としての学習に向かう姿勢

生涯にわたり学ぶ「姿勢」を持ち、自ら学習する「方法」を身につけるとともに、学習によって獲得した力を他者のために活用する意欲に溢れ、挫折をも糧として成長していくタフな人間を育成する。また、生き生きと楽しく自律的に学ぶ生徒（エージェンシーに富む生徒）を育成する。

#### ③ 適切な情報収集・分析能力と課題発見能力

情報処理に関する基礎的・基本的な知識技能を持つとともに、情報を扱うことに対する適切な倫理観を育成する。さらに、錯綜した複雑な情報の中から重要なものを選び出し自らの目的に沿った情報を発見する力を育成する。その上で、適切な課題を設定し社会を改善していく力を養成する。

#### ④ 柔軟にダイバーシティを受け入れ活用する力

アジアをはじめとした海外の研究機関・大学・高校と連携して、共同研究及び交流を行うことで、グローバル化に対応した、異なった文化・価値観を持つ人々と協働しその多様性を生かしていく柔軟な知性を育成する。そのための英語力をはじめとした豊かなコミュニケーション能力を育てる。

令和6年10月

## 東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬4丁目1番5号

電話 (03)3421-5151(代表)

ホームページ <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>

# 令和7年度 生徒募集要項（帰国生用）

## 1. 募集人員

第1学年 15名

## 2. 出願資格

下記の(1)～(6)の条件をすべて満たすこと。

- (1) 日本国籍を有すること。
- (2) 生年月日が平成22年（2010年）4月1日以前であること。（注1）
- (3) 令和7年3月までに、滞在先の国または地域にある学校に、日本の中学校の学齢期に相当する3年間のうち2年間以上在学し、教育を受けた者であること。
- (4) 出願資格(3)においては、保護者の海外勤務にともない、海外勤務を要する保護者とともに滞在した期間であること。
- (5) 日本に帰国した場合は、帰国後、本校への入学までの期間が1年未満であること。

（注2）（注3）

(6) 以下のいずれかの条件を満たすこと。

- ① 日本の中学校か中等教育学校前期課程を令和7年3月までに卒業見込み・修了見込みの者。
- ② 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者。または令和7年3月までに修了見込みの者。（注4）
- ③ 文部科学大臣が、中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。または令和7年3月までに修了見込みの者。
- ④ 中学校卒業程度認定規則により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者。

（注1） 本校を過去に受験した者で、保護者の海外勤務に同行して海外残留した者は、再度この帰国生入試は受けられません。

（注2） 本学附属国際中等教育学校に帰国生として編入した場合は、この帰国生入試は受けられません。

（注3） 帰国後日本の中学校に編入した場合は、編入の期日が令和6年4月1日以降であること。

（注4） 外国において、学校教育における9年の課程を令和7年4月以降に修了する見込みの者は、本校までお問い合わせください。

## 3. 出願手続

### (1) 期間

令和6年12月16日（月）0時から令和7年1月10日（金）23時59分まで

### (2) 方法

インターネット出願

本校 Web サイト (<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/exam/info/>) からアクセスできます。なお入試の内容に関する質問は本校へ、出願のシステムに関する質問は **miraicompass** 「お問合せ先」に掲載してあるサポートセンターまでお願いします（「よくある質問」もご参照ください）。また、環境が整わないなどで、インターネット出願サイトにアクセスできない場合は、事前に本校まで電話にてお問い合わせください。

### (3) 入学検定料

9,800円

インターネット出願で指定された方法で、令和6年12月16日（月）0時から令和7年1月10日（金）23時までに納付してください（出願システムの特性上、納付方法によっては決済に時間がかかる場合がありますので、時間に余裕をもって納付してください）。

#### (4)提出書類

インターネット出願の手続きを終えた志願者は、令和7年1月6日（月）から、令和7年1月10日（金）消印有効で、以下の5点の書類を日本国内から**レターパックプラス**（品名には「帰国出願書類在中」と記載してください）にてお送りください。宛名はインターネット出願の「受験票」のページから印刷したものを使用してください。

- ① 入学願書……インターネット出願の「受験票」のページから印刷したもの。
- ② 海外生活の記録
- ③ 海外在留を証明する書類
  - ・必ず本校所定の様式に書いてください。保護者の勤務先の代表者の公印またはサインが必要です。
  - ・保護者が自営業、または保護者本人が会社代表である場合は、在留先で登記した登記簿のコピーを添付してください。
  - ・本校 Web サイトからダウンロードする際は必ず A4 サイズにプリントアウトしてください。感熱紙は使用しないでください。

#### ④ 成績を証明する書類

日本の中学の学齢期に相当する3年間（全学年）分の書類を提出してください。

##### 1 現地校に在籍している期間の成績について

成績証明書（成績および出欠状況が記載されているもの）またはそのコピーを提出してください。

##### 2 日本人学校に在籍している期間の成績について

本校所定の様式（A4用紙）または各学校の書式による調査書または成績証明書を、厳封のうえ提出してください。

##### 3 国内中学校に在籍している期間の成績について

本校所定の様式（A4用紙）の調査書または成績証明書を、厳封のうえ提出してください。

また、現地校等からの編入の場合は、その期間の成績は空欄になります。

なお、日本人学校から転入した場合は、日本人学校の成績も転記してもらってください。

※各種推薦書、検定・資格等の証明書は必要ありません。

卒業または卒業見込みの中学校には、本校所定の様式（A4用紙）による調査書を発行していただいでください。

#### ⑤日本国籍を証明する書類

パスポートのコピー……日本国籍が記載されているページ（写真のページ）を、A4サイズの用紙にコピーして提出してください。

#### 注意事項

- ① 提出書類は郵送のみ受け付けます。本校に来校されての提出は受け付けません。一旦納付した検定料は、出願資格の要件を満たさない場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格者発表の後であっても合格を取り消します。
- ③ 出願手続きにともなう個人情報の取り扱いについては、P.6「生徒募集にともなう個人

情報の取り扱いについて」を参照してください。

- ④ 本校の学力検査当日および入学後の学校生活に特別な配慮が必要であると予想される場合は、令和6年11月29日（金）までに本校入試委員会に申し出てください。申し出に基づいて必要な手続きの連絡をし、学力検査及び就学についての相談を実施します。
- ⑤ 受験票は、出願手続きが完了したら、インターネット出願サイトから印刷することができます。学力検査当日に持参してください。

#### 4. 選抜方法

- (1) 志願者全員に対して学力検査を行います。
- (2) 学力検査・提出書類を総合的に判断して、合格者を決定します。

#### 5. 学力検査

##### (1) 日時

令和7年2月13日（木）9時25分から12時45分まで

##### (2) 集合時刻

8時50分（開門及び校舎内への入場開始時間等は受験票でお知らせします）

##### (3) 検査場

東京学芸大学附属高等学校

##### (4) 検査教科

国語・数学・英語（「リスニング問題」を含む）

検査時間は、いずれの教科も50分で、この教科の順序で検査を行う。

配点は各教科100点満点とする。数学以外の教科の解答はマーク方式を含む。

検査教科	国語	数学	英語
時間	9:25~10:15	10:40~11:30	11:55~12:45
配点	100点	100点	100点

##### (5) 持ち物

受験票（インターネット出願サイトから印刷して持参したもの）・

筆記用具（HB程度の濃さの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）

##### 注意事項

- ① 学力検査の開始時刻を20分以上遅刻したときは、受験することはできません。
- ② 学力検査当日、下敷きと定規を貸し出しますが、筆記用具は必ず持参してください。
- ③ 上履きは必要ありません。
- ④ 学力検査の開始から終了までは本校の敷地から外へ出ることはできません。
- ⑤ 学力検査当日、本校敷地内には受験生以外は入場できません。
- ⑥ 出願手続きが完了した志願者に対して、2月3日（月）に学力検査当日の注意事項を出願の際に登録したメールアドレスに連絡します。必ず確認してください。
- ⑦ 学校感染症に罹患したなどで学力検査を受験できない志願者に対しては、別に受験機会を保障します。学校感染症に罹患した場合は本校に連絡をし、学力検査を受けなくて、本校の指示にしたがってください。

## 6. 合格者発表

令和7年2月16日(日)15時ごろ、本校指定のWebサイトに掲載します。Webサイトへのアクセス方法は、学力検査当日にお知らせします。

### 注意事項

合否についての電話等によるお問い合わせには応じません。

## 7. 入学手続き

合格者発表の際に、合格者は必要書類をWebサイトからダウンロードし、入学確約書(保護者の署名・押印が必要です)を本校に**レターパックプラス**(品名には「帰国入学確約書在中」と記載してください)で郵送(令和7年2月19日(水)消印有効)し、入学料を手続き期間内に納付することで、入学手続きが完了します。

手続き期間 令和7年2月16日(日)から2月19日(水)まで

入学料 56,400円

### 注意事項

- ① 一旦納付した入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ② 上記入学料の他に、諸経費があります(【資料】3年間にかかる経費(概算)を参照してください)。
- ③ 授業料前後期分115,200円(昨年度額)については、「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」等が適用されます。これにより高等学校等就学支援金制度の対象となる場合は、納付は不要です。
- ④ 入学手続きが完了したか否かについてのお問い合わせにはお答えしません。レターパックプラスの「保管用シール」と、入学料の振り込みの控えをご確認ください。
- ⑤ 入学手続き完了後は、保護者の転勤にともなう転居等のやむを得ない事情以外での入学辞退はしないでください。

## 8. 入学予定者オリエンテーションおよび保護者説明会

令和7年3月9日(日)13時から、入学予定者とその保護者に対して、入学予定者オリエンテーション、および諸手続きに関する保護者説明会を行います。

### 注意事項

- ① 合格証書を必ず持参すること。
- ② 保護者がやむを得ず出席できない場合は、代理人による出席も認めます。
- ③ 入学手続き完了後、保護者の転勤にともなう転居等、本校に入学できない事情が生じた場合は、入学予定者の保護者から本校入試委員会にすみやかに電話で申し出てください。

## 9. 繰り上げ合格

繰り上げ合格を実施する場合は、令和7年2月21日(金)から3月5日(水)までに、出願の際に登録したメールアドレスに連絡します。メールの指示に従って、入学手続きを行うことによって、合格者となります。

### 注意事項

繰り上げ合格の実施の有無についてのお問い合わせにはお答えしません。

## 10. 問い合わせ

ご不明点がありましたら、以下のフォームよりお問い合わせください。

<https://forms.office.com/r/wxh7mBe3Xh>



## 11. 入学後の教育

入学後は一般生徒と同じ学級に配属し、高等学校の普通課程の教育を行います。なお、1年次には、帰国生として入学した生徒を対象とする適応指導を行っています。

### 「海外生活の記録」の記入について

以下の点に留意して、黒のペンまたはボールペンで記入してください。訂正をする場合は二重線を引き、その個所に押印してください（修正液等は使用不可）。

#### 海外生活の記録

- (1) 保護者に記入してもらっても結構です。
- (2) 受験番号の欄は記入しないでください。
- (3) 受験期間中の国内連絡先については、入学願書と同様に記入してください。
- (4) 「就学歴」について
  - ① 海外における就学（小学校以上）から書き始めてください。
  - ② 日本に戻った場合は、中学校に就学した場合のみ書いてください（日本の小学校就学については記入不要です）。
  - ③ 滞在地が同じでも、編入学や上級学校への進学等、学校をかわった場合はそれぞれについて欄を分けて記入し、最後は令和7年3月の時点での在籍校になるようにしてください。
  - ④ 海外の学校での在学期間は、その学校に在籍していれば夏休み等長期の休みも含めて「9月～8月」のように記入してください。
  - ⑤ 欄内に書ききれない場合は、別紙に記入して添付してください。
  - ⑥ 「滞在地」欄には、海外での住まいの場所（国または地域名、および都市名）を記入してください。

## 生徒募集にともなう個人情報の取り扱いについて

本校において個人情報は「国立大学法人東京学芸大学の保有する個人情報の保護に関する規程」にのっとり取り扱われております。

つきましては、令和7年度の生徒募集にともなう個人情報の取り扱いを下記の要領で行わせていただきます。

### 記

(1) 個人情報とは、ある情報を見たときに特定の個人が識別できるものとわかる情報を指します。令和7年度の募集において、本校は以下の個人情報を収集いたします。

① 応募書類（インターネット出願による入力情報を含む）

② 答案

(2) 収集した個人情報は募集業務以外の目的には利用いたしません。ただし合格者の個人情報に関しては、在籍者名簿等へ内部転用いたします。

(3) 収集した個人情報は「国立大学法人東京学芸大学法人文書管理規則」に従って保管し、廃棄いたします。

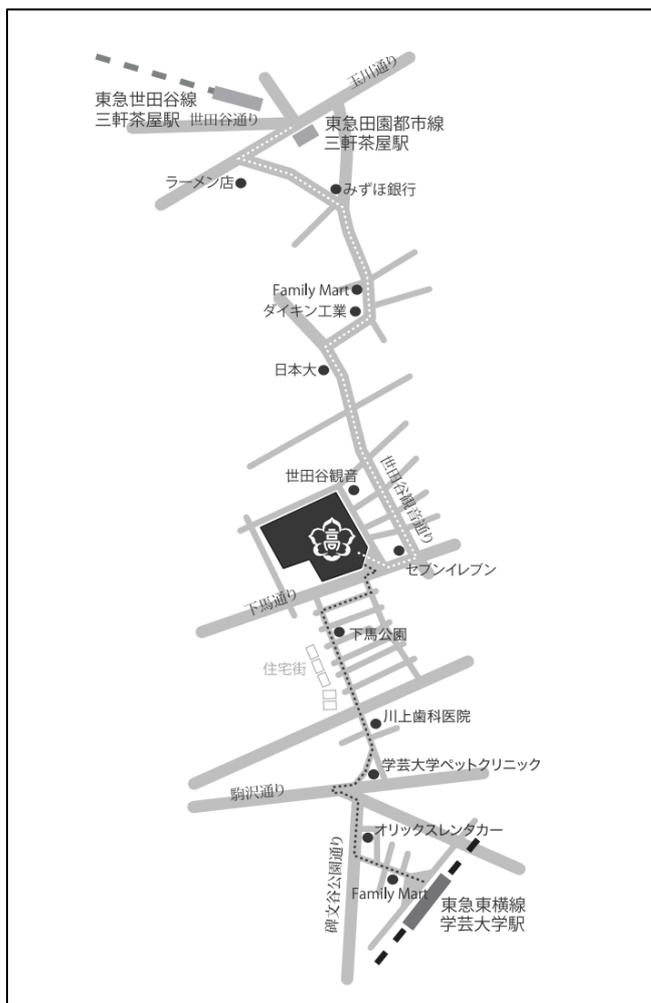
(4) 収集した個人情報を外部に提供することはいたしません。

(5) 出願者は、以上の個人情報の収集と利用に関して、入学願書提出の事実をもって同意したものとみなします。

以上

## 緊急時の対応等について

天候およびその他の事情により、学力検査（令和7年2月13日（木））、合格者発表（令和7年2月16日（日））において実施日や開始時刻の変更等が生じた場合は、本校ホームページ（<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>）にてお知らせします。



### 電車

- ・東急東横線「学芸大学」駅下車 徒歩 15 分
- ・東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車 徒歩 20 分

### バス(東急バス)

- ・【渋谷駅】西口 31 番バスのりば「渋 32 野沢龍雲寺循環」行き
  - ・【三軒茶屋駅】6 番バスのりば「黒 06 目黒駅」行き
- ※いずれも「学芸大学附属高校」下車 徒歩 1 分

**【資料】 3年間にかかる経費（概算）**

《納付先ごとの主な使途》

- \* 大 学： 大学にそのまま納付
- \* 学 年： 副教材、行事費など
- \* 生 徒 会： 生徒会活動への助成など
- \* 後援会泰山会： 教育活動の推進を助成するための費用

1年次		*単位：円		
納付先	項目	金額	納付期限	小計
大学	入学料	56,400	入学時	56,400
学年	学年経費（前期）	106,200	4月下旬	128,000
	学年経費（後期）	21,800	10月上旬	
生徒会	生徒会入会金	2,000	4月下旬	10,400
	生徒会費（前期）	4,200	4月下旬	
	生徒会費（後期）	4,200	10月上旬	
後援会泰山会	後援会入会金	30,000	4月下旬	242,000
	後援会会費（前期）	24,000	4月下旬	
	後援会会費（後期）	24,000	10月上旬	
	校内環境保全費（前期）	12,000	4月下旬	
	校内環境保全費（後期）	12,000	10月上旬	
	教育施設充実費	40,000	4月下旬	
	教育施設運営費	100,000	4月下旬	
1人1台PC	MacBookAir13インチ（3年リース等）	163,000	4月下旬	163,000
合 計				599,800

2年次				
納付先	項目	金額	納付期限	小計
学年	学年経費（前期）	166,000	4月上旬	366,000
	学年経費（後期）	200,000	10月上旬	
生徒会	生徒会費（前期）	4,200	4月上旬	8,400
	生徒会費（後期）	4,200	10月上旬	
後援会泰山会	後援会会費（前期）	24,000	4月上旬	72,000
	後援会会費（後期）	24,000	10月上旬	
	校内環境保全費（前期）	12,000	4月上旬	
	校内環境保全費（後期）	12,000	10月上旬	
合 計				446,400

3年次				
納付先	項目	金額	納付期限	小計
学年	学年経費	115,000	4月上旬	115,000
生徒会	生徒会費	8,400	4月上旬	8,400
後援会泰山会	後援会会費	48,000	4月上旬	72,000
	校内環境保全費	24,000	4月上旬	
合 計				195,400

授業料				
納付先	項目	金額	納付期限	小計
大学	1年授業料	115,200	11月下旬	115,200
	2年授業料	115,200	11月下旬	115,200
	3年授業料	115,200	11月下旬	115,200
合 計				345,600

\* 授業料（115,200円（昨年度額））については、「公立学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」等が適用されます。これにより高等学校等就学支援金制度の対象になる場合は、納付は不要です。

3年間 総額（制服代を除く）	1,587,200
----------------	-----------

制服代			
品目	項目	金額	備考
上衣	詰襟上衣	31,200	上衣は、詰襟かセーラーを選択
	セーラー（紺サージ（冬用））	20,800	
	セーラー（白ブロード（夏用））	11,700	
下衣	冬ズボン	15,900	下衣は、ズボンかスカートを選択
	夏ズボン	13,000	
	冬スカート	19,300	
	夏スカート	18,200	

※業者により多少金額が異なります。

納付先別の金額（制服代を除く）	
納付先等	金額
大学	402,000
学年	609,000
生徒会	27,200
後援会泰山会	386,000
1人1台PC	163,000
総額	1,587,200

納付時期別の金額（制服代を除く）		
時期	金額	備考
入学時	56,400	入学金
1年次 春	481,400	1人1台PC含む（制服含まない）
1年次 秋	62,000	授業料含む
2年次 春	206,200	
2年次 秋	355,400	授業料含む
3年次 春	195,400	
3年次 秋	115,200	授業料含む
総額	1,472,000	

注(1) この資料は、令和6年度の経費をもとに作成したものです。学年経費については、年度により変更の可能性があります。

(2) 制服代は年度・業者により変更があります。

(3) 「1人1台 PC」は、業者に使用料を払うリース形式です。

(4) 「1人1台 PC」は、現在の1年生の経費を示したものです。リース機や保守管理の契約に伴い金額の変更の可能性があります。

# 海外生活の記録

令和 年 月 日

受験番号	※
------	---

志願者	ふりがな		性別	国籍
	氏名		男・女	
	生年月日	西暦 年 月 日生		
	住所	〒		
保護者	氏名			
	住所	(志願者と異なる場合は記入のこと)		
	勤務先			
受験期間中の国内連絡先 (電話)				
保護者が海外にいる場合は、保護者代理人の氏名 (志願者との関係)・住所・電話				

## 就学歴 (学校名および編入学・在学学年・卒業等も記入すること)

在学期間 (西暦)	海外にある学校名	滞在地 (国または地域名及び都市名)
年 月～ 年 月		
帰国後、国内の中学校に編入した場合	(学校名) 立 中学校	
	編入の時期	年 月
海外における就学期間の合計 年 月 日	小学校段階の就学期間	年 月 日
	中学校段階の就学期間	年 月 日

## 2 海外在留を証明する書類

東京学芸大学附属高等学校校長 殿

証明日 (西暦) 年 月 日  
発行者 (事業所名または機関名・所在地・代表者名・公印)

### 海外在留を証明する書類

下記の通り志願者は保護者に同行して海外に在留したことを証明します。

記

志願者氏名 :		
在留国	在留期間	
1.	(西暦) 年 月 日から	(西暦) 年 月 日まで (予定)
2.	年 月 日から	年 月 日まで (予定)
3.	年 月 日から	年 月 日まで (予定)

保護者氏名 :		
在留国	在留期間	
1.	(西暦) 年 月 日から	(西暦) 年 月 日まで (予定)
2.	年 月 日から	年 月 日まで (予定)
3.	年 月 日から	年 月 日まで (予定)

- 〈記入上の注意〉
- ① 公印は、事業所名または機関名が入ったものを押してもらってください。
  - ② 在留期間は西暦で記入してください。
  - ③ 在留国名・在留期間が三つ以上になる場合は、「3.」が最も新しくなるように最近の三つを記入してください。
  - ④ 在留期間がこの書類の証明日を越える場合は、予定日を記入し、「(予定)」を○で囲んでください。また保護者の海外勤務が2025年3月31日を越えて継続予定の場合は、終期を2025年3月31日とし、「(予定)」を○で囲んでください。「(予定)」での証明が不可能な場合は、二重線で「(予定)」を消した上で「(現在)」と下に記入してください。この欄は空欄にしないでください。
  - ⑤ 保護者が自営業、または保護者本人が会社代表である場合は、在留先で登記した登記簿のコピーを添付してください。

令和 7 年度

# 調 査 書

受験 番号	
----------	--

ふりがな		性別	令和 年 月 第 1 学年 入学
志願者 氏 名		男	第 学年 編入学
		女	令和 年 月
生年月日	平成 年 月 日生		立 中学校より 転入学
中学校名	立 中学校		令和 年 月 卒業見込 卒 業

学 習 の 記 録 (5段階評定で(転入学の場合も指導要録に基づき)3年分の評定をご記入ください。なお、卒業見込みの場合、3年の評定は2学期末までのものをご記入ください。また、海外での成績は別紙添付をしてください。)

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	外国語	選択 教科									
1年										1年									
2年										2年									
3年										3年									
備考 (評定1がある場合、その状況等を具体的にご記入ください)										総合的な学習の時間 (3年次のテーマをご記入ください)									

趣味・特技・資格 (特段のものがあれば具体的にご記入ください)

特別活動の記録 (生徒会活動・部活動(役割)等をご記入ください)

--	--

出 欠 の 記 録 (出欠の状況欄には遅刻や保健室登校の状況等も、また、1年間に欠席10日以上の場合は欠席理由等を必ずご記入ください)

	出席しなければ ならない日数	欠席 日数	出欠の状況	健康に関する特記事項 (入試時、入学後、配慮すべき事項等がある場合はご記入ください。なお、この欄の記載事項が 合否に影響することはありません)
1年				
2年				
3年				

上記の記載に相違ないことを証明致します。		令和 年 月 日
学校名	立 中学校	所在地 (電話)
校長名	印	記載者名 印

## 【調査書】の発行についてのお願い

本校へ提出の書類に関しまして、次の点にご留意いただくようお願い申し上げます。

1. 「成績一覧表」は不要です。  
\*郵送された場合、お返しせず、本校において責任を持って廃棄させていただきます。  
その際、受領書の発行はご容赦ください。
2. 調査書は本校指定の様式を使用し、受験番号以外をすべてご記入の上、A4用紙に印刷したものを必ず厳封して志願者にお渡しください。厳封されていれば、調査書を折って封筒に入れて構いません。
3. 「男・女」、「入学・編入学」、「卒業見込・卒業」は該当するものを○で囲むか、該当しないものを線で消すかしてください。
4. 編入学の場合、編入前の在籍校名を記載する必要はありません。
5. 「学習の記録」欄の選択教科の評価につきましては、A・B・Cなどの表記でも結構です。  
選択教科を実施していない場合は、欄全体の左上から右下に斜線を1本引くか、各欄に斜線を引いてください。
6. 「出欠の記録」の「出欠の状況」、「健康に関する特記事項」欄について、特に記入することがない場合は、「なし」とご記入ください。
7. 令和7年3月卒業見込みの志願者については、「出欠の記録」欄は、令和6年12月までの記録をご記入ください。
8. 複数の志願者がいる場合でも、「調査書」は志願者一人ひとりにお渡しください。
9. 校長公印・記載者印の漏れ、その他記載上の不備がありました場合、受付はしますが、後日再提出をお願い致しておりますので、ご承知おきください。